

自治会交流会が開催されました

五月二九日（日）に恒例の自治会交流会が開催されました。今年は「マレットゴルフ」「吹き矢」「諷訪形の教育関連遺跡を歩く」と三つのイベントが行われ、合計五四名の皆さんのが参加をいただきました。



第10号  
諏訪形自治会  
会長窪田善雄

## ○諏訪形の教育関連遺跡を歩く

吹き矢は准師範の資格を持つ有賀西夫さんをはじめ指導者の方、七人を迎えてからスポーツの歴史や腹式呼吸などのお話をあり、その後基本の動作やその精神を学んだ後実際に挑戦しました。参加者からは、「礼に終わる」という基本精神が心に残ったとの話もありました。



吹き矢

マレットゴルフは古牧橋マレットゴルフ場で行われ、マレットゴルフクラブ(林慧子会長)の皆さんのがんばりで、マレットゴルフ大会が開催されました。七名が参加、ベテランも初心者も混じつた中で白熱したプレーを展開しました。

アーティスト

「マレットゴルフ」「吹き矢」「諏訪形の教育関連遺跡を歩く」と三つのイベントが行われ、合計五四名の皆さんのご参加をいただきました。

河川に注意をお願いします！

農繁期を迎えて、地区内の河川は水量が増えて流れも速くなっています。陽気が良くなつて、子供たちも水のそばで遊びたい季節ですが、事故のないようにお願いします。特に小さい子どもさんの保護者の皆さんには、子どもさんから目を離さないようにしてください。また、地域の皆さんも小さな子どもさんが遊んでいるときは、それとなく注意を払っていただきますようお願いします。



## 「アミヤコ運動」について

五月一日（日）に恒例の「ゴミゼロ運動」が行われました。この日は午前六時から地区内のゴミを拾いながら河川敷まで持つていただき、河川敷で協議員がお預かりするというかたちで行いました。朝早くからご協力いただき、ありがとうございました。



# 河川清掃と汚泥処理について

四月二十四日は早朝から河川清掃をしていただき、ありがとうございました。今回は、河川清掃に関する流れについて紹介させていただきます。

①あらかじめ市と連絡を取りながら日程を決める。直前に汚泥の回収について依頼する。

②六ヶ村堰土地改良区の相田理事長に連絡し、当日水路を止めていただくようにお願いする。

③地区の皆さんで出ていただいての河川清掃。

④河川清掃が終わった後、協議員が一班に分かれて汚泥をまとめる。あらかじめ地区内の地図によつて市に提出しておいた約一〇箇所に汚泥をかたためる。

⑤⑥週終了後、相田理事長に連絡して水路を通していただく。明けにかためておいた汚泥を市が回収する。

以上のような形で河川清掃とその処理が行われています。河川清掃は九月にも予定していますので、ご協力をよろしくお願ひします。



あいさつ・声かけ運動街頭活動

三月一日に「第一回あいさつ・声かけ運動」が行われました。あいさつ運動は「親しく人とふれあい、明るく安全で住みよいまちづくり」をめざして、三月、七月、十一月を強化月間として行われています。

## 第四回 「諏訪形誌を歩く」

諏訪形自治会では令和二年（二〇二〇年）「上田市わがまち魅力アップ応援事業」の補助金をいただいて『諏訪形誌』を刊行しました。刊行に際して「本を出して終わりとせず、『諏訪形誌』を地域の活動に活かしていきたい」という方針で「諏訪形誌活用委員会（柳澤公一委員長）」を立ち上げました。

その後、コロナ禍のため、活動が思うように進められない面もありましたが、『諏訪形誌（デジタル版）』で公開していけるウォーキングマップ「諏訪形誌を歩く」を元にしたウォーキングイベントを企画してきました。今日はその四回目として五月二九日、「諏訪形の教育関連遺跡を歩く」を実施しました。今回イベントの様子をお伝えします。

まず、御所の「亮功学校跡」に集合し、スタートです。



所の筆塚」に立ち寄りました。この筆塚は「二代目田子栄三（尚廉）師の功績をたたえるために弟子たちの手によつて建立されたものです。

二代目田子栄三の高弟として知られた諏訪形の宮下理兵衛はその後、諏訪形の子どもたちの教育にも尽力しています。

また、「神宮への道標」も置かれています。

「荒神宮の賑わい」と書かれた筆塚の隣には「荒神宮での往時の荒神宮の賑わい」と書かれた筆塚があります。





三好町橋、諏訪形橋があつた場所を通つていよいよ諏訪形に入ります。



最初の城下小学校

りま帯九小が  
までに〇学施明治二二二年（一八八九年）に「市制町村制」  
しの新年校行された。「校」若舎にがれ、年（一八八九年）に「市制町村制」  
た。「校」若舎にがれ、年（一八八九年）に「市制町村制」  
宮がは開城下村が誕生すると、「城下尋常  
学建校設現」在の上田電鉄城下駅西側「一八八九年」に「市制町村制」  
とれ、「亮功学校」はなくそなれ一八八九年に「市制町村制」

その後、城下尋常小学校は大正一年（一九二二年）に現在の場所に移転しました。

下の写真は現在の城下駄西側ですか  
の面影はありません。

上田高校旧プール跡

昭和五年（一九三〇年）、旧制上田中学校に水泳部が創設されましたが、練習場所は千曲川になどだったため、十分な練習ができませんでし  
た。そこでプールを建設するための用地を探し、諏訪形の堀尾地籍（現高田屋旅館東側）の土地を東西二五メートル、南北一五メートルのプールに開墾され、昭和八年（一九三三年）完成しました。

このプールがあつた場所は現在では住宅地となつていて、当時の面影は残つていません。しかし、地元の皆さんには（ちよつとした悪さも含めて）このプールにはいろいろな思い出があるようです。「諏訪形の教育関連遺跡を歩く会」の時にも、諏訪形誌活用委員会の北沢伴康顧問、一委員長、阿部和子委員などが上田高校の思い出を語ってくれました。



小菅訓導遭難事故と小菅訓導殉職記念碑

享て解しいひい千りのた道等二年水けた、とま曲の教板を小四昭二中水。生りし川生師橋す学日和三にのし徒のたに徒がをる校、四歳、没強かを小。転が注渡た本遠年強くし助菅そ落誤意りめ校足へして冷、け武こしつを始中部帰した小て夫で、てしめ州のり九にまい菅同が、流水たまに一の二ない水は僚救引さか矢し架部上九てま流疲に助率れさ先たか生田年一しに労託に教ての、つ徒尋かたよとし向師し増ひ引てが常四月。つ雪まかのますと率い近高月



若宮学校跡

諏訪形村や小牧村の子どもたちが遠い御所村の亮功学校（今回のウォーキングの出発点）まで通学することは不便だったので、明治八年（一八七五年）諏訪形村に「諏訪形学校」が開校しました。当初は民家を借りた学校でしたが、その後、小牧村、諏訪形村、枝村の須川から寄付金を集め、明治一年（一八七八年）に若宮地積（荒神宮西側）に新校舎を建設しました。当初「智仁学校（ちじんがくがく）」と称していまして、明治十五年（一八八二年）に「若宮学校」と改名しました。



## ご参加いただいた皆さんのがんばり

講師の方に説明していただき、よくわかつて良かつた。  
だんだん心の中から消えていくものを見直せて良かつた。  
小道など「こんな所にあつたんだね」と思った。  
御所の井戸など見過していた場所が見られて良かつた。  
「トイレはどうで?」心配しながらのスタートでした。  
（歩く距離が長かったので）少々歩きがきつかった。

今回のイベントの概要をお伝えしました。  
詳しい資料やウォーキングマップなどは、「諏訪形讀ウエブ版  
(<https://suwagata.ueda-common.net/>)」を覗いてください。

また、諏訪形讀活用委員会では七月後半に第五回ウォーキング  
ント「須川への旧道と須川地区内散策」を計画しています。後日  
でお知らせしますので、ご参加ください。

